

広報 志もじょう

村の人口と世帯

人口 4,124人

男 1,997人

女 2,127人

世帯数 1,290世帯

平成23年5月1日現在

○発行：下條村役場 総務課／〒399-2101 長野県下伊那郡下條村睦沢8801番地 1
TEL0260(27)2311 FAX0260(27)3536 ○ホームページ <http://www.vill-shimojo.jp/>

平成23年5月15日 第169号

3月18日、東日本大震災で被害のあった 福島県泉崎村へ緊急支援物資を届けました(出発式)



主な内容

平成23年度当初予算	2～3
議会だより	4
村議会議員	
私の抱負と提言	5～10
緊急支援物資のお礼と報告	11
いきいきらんど情報	12～13
ズームアップ下條	14～15
あしたむらんどだより	16～17
下條村消防団役員編成・行政相談員	
戸籍の窓口	18
南信州地域づくり大賞・自動車税・森林整備・寄贈	19
リサイクル情報	20



福島県泉崎村にて

平成23年度当初予算

特別会計
(4会計)

8億7,000万円

一般会計 **21 億円**

(前年度1億8,000万円増)

『若者とお年寄りが共存できる
魅力あふれる村』をめざして

特別会計 8億7,000万円

国民健康保険 3億4,500万円

介護保険 3億7,800万円

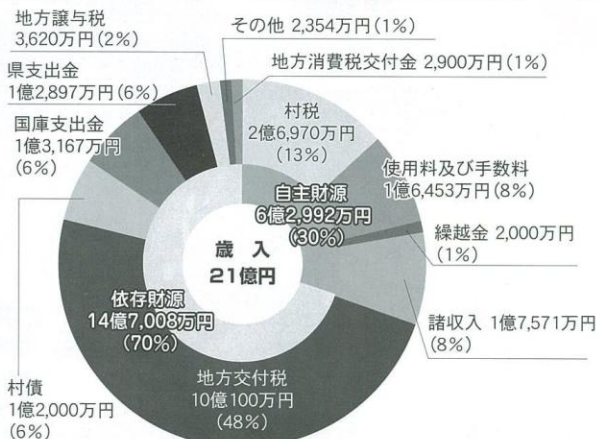
後期高齢者医療 3,700万円

村営水道 1億1,000万円

依然として厳しい経済情勢により、村税をはじめとする歳入減少が見込まれますが、子ども手当ての給付にかかる国庫負担金などにより最近5年間で最大規模となりました。

歳出は、高齢者の医療費補助や学校給食費の補助、不妊治療費の助成、子宮頸がんワクチン等の接種といった住民の生活に密着した新規ソフト事業を充実させ、住民生活の向上、魅力ある村づくりに取り組みます。

歳入 (一般会計)



歳入全体に対する自主財源は、村債の繰上償還の財源として減債基金からの繰入金1億円を計上したため、前年と比べ21%増の6億2,992万円となっています。

依存財源は、14億7,008万円の前年と比べ5.1%増となっていますが、これは子ども手当の給付にかかる国庫負担金、普通地方交付税、緊急雇用県補助金の増加などが主な理由です。

村民 1人当たり **510,328 円/年** (人口 4,115人 平成23年4月1日現在)

議会費

10,386円

(2.0%)

議会運営に

総務費

71,375円

(14.0%)

職員給与など行政運営と積立金

民生費

177,388円

(34.8%)

福祉や将来の暮らしのために

衛生費

37,619円

(7.4%)

ゴミ処理や健康のために

農林水産業費

19,498円

(3.8%)

農林業の振興と活性化に

商工費

16,610円

(3.3%)

観光・商工業の振興と活性化に

土木費

25,633円

(5.0%)

道路整備など住みよい村のために

消防費

21,990円

(4.3%)

防災活動や災害予防に

教育費

37,580円

(7.4%)

教育のために

公債費

89,363円

(17.5%)

借入金の返済に 繰入分も含みます

歳 出 (一般会計)

平成23年度は、昨年度の『第5次総合整備計画』基本方針に基づき、新規事業として情報システムのデジタル化、橋梁点検、防災機器の整備、子育て・高齢者支援のソフト事業、合併処理浄化槽清掃料の補助、LED防犯灯事業等の11事業、また、拡充事業として有害鳥獣駆除対策、南部公共バス運営費、さらなる子育て支援・福祉事業、合併処理浄化槽点検・検査料補助、生ごみ処理機補助事業、地域づくり交付金事業、新規卒業者雇用企業補助等の8事業を行うことで村民生活の向上、さらなる魅力ある村づくりを進めるための予算編成となっております。

◎新規事業 ○拡充事業

基本構想に基づく主なむらづくり事業

機能的で快適な活力あるむらづくり

- ・協働による生活環境基盤整備事業
(資材支給等) 800万円
- ◎緊急雇用県補助金を活用した
公有財産管理システム導入事業
(道路台帳等のデジタル化) 3,400万円

安心安全で魅力溢れるむらづくり

- ・道路改良舗装、維持修繕事業 7,279万円
- ◎橋梁長寿命化修繕計画
点検事業(66箇所) 100万円
- ・ケーブルテレビ・ホームページ等
の情報通信基盤運営事業 2,434万円
- ◎防災機器等整備事業 207万円
- 有害鳥獣駆除対策事業 848万円
- 南部公共交通対策事業
(南部公共バス運営負担金) 744万円
- ・防犯灯設置補助事業 97万円

みんなが集い新たな発想で個性が映えるむらづくり

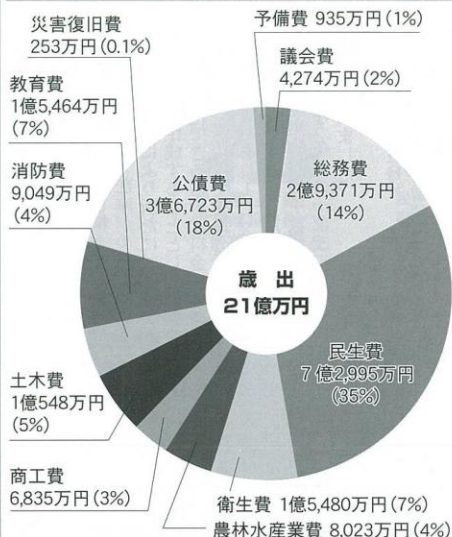
- ・GHV(グッド・ヘルス・ビレッジ)事業
1億8,248万円
在宅老人支援、各種健康診断、運動指導、介護予防事業など
- ◎子宮頸がん・ヒブワクチン・
小児肺炎球菌ワクチン接種事業 768万円
- ◎不妊治療費助成事業、母乳育児相談事業
46万円
- 子育て応援積立基金 1億5,000万円
- ◎子ども手当支給事業 1億914万円
- ・保育料の引下げ 850万円
- ・高校生までの医療費支援事業 606万円
- ◎年齢75歳以上の医療費支援事業(1/2支援)
2,144万円
- ・子育て支援事業(学童保育・出産祝金など)
530万円
- ◎給食費補助金(30%)・そば給食など 815万円
- ・福祉バスの運行 199万円
- ・教育ローン保証料補給事業 50万円
- ◎人工透析患者通院補助 27万円

環境に配慮し自然と調和したむらづくり

- ・合併浄化槽設置事業 718万円
- 合併浄化槽保守点検料補助事業
(3/4補助) 1,211万円
- ◎合併浄化槽清掃(汚泥引抜)料
補助事業(1/2補助) 664万円
- 合併浄化槽検査手数料補助(全額補助)321万円
- ・太陽光発電設備設置補助事業 400万円
- ◎LED防犯灯設置補助事業 97万円
- 生ごみ処理機補助事業(1/2補助) 60万円

ふれあいと交流地域の特色を生かしたむらづくり

- 地域づくり交付金事業・地域づくり特別交付金事業
299万円
- ・中山間地域等直接支払交付金事業 1,108万円
- ・特産品育成事業(そば・親田辛味大根など) 595万円
- 新卒者緊急雇用奨励補助金
(新規卒業者雇用企業補助) 500万円
- ・商業活性化対策事業 1,647万円



下條村議会だより

あした 未来の村政を託す新議員・初議会に臨む

議長に 宮嶋清伸氏 副議長に 宮嶋怡正氏

4月に改選された、下條村の初議会は、5月10日に招集され、正副議長、各常任委員会の委員及び常任委員長、同副委員長が決定されました。議会運営委員には副議長と各常任委員長が選任されました。

続いて南信州広域連合議会議員の選出では、議長の宮嶋清伸氏、監査委員には村松積氏が選任同意されました。

又、今回の選挙が無投票となりましたので、選挙公報は発行されませんでしたが、この原稿を「議会に臨む議員の決意・抱負」として、原稿をそのまま写真にとり、6ページから10ページまで届出順に掲載しました。



議長
宮嶋清伸氏



副議長
総務文教委員
産業建設委員
宮嶋怡正氏



総務文教委員長
産業建設委員
金田憲治氏



民生福祉委員長
総務文教委員
小池昌人氏



産業建設委員長
民生福祉委員
串原寛治氏



監査委員
総務文教委員
民生福祉委員
村松 積氏



民生福祉委員
産業建設委員
下嶋一英氏



民生福祉副委員長
産業建設委員
福嶋利治氏



総務文教副委員長
民生福祉委員
伊藤 進氏



産業建設副委員長
総務文教委員
熊谷政孝氏



初議会



当選証書付与式

熊谷まさたか

私の決意

この度、多くの皆様方の力強いご支援を頂き、下條村議会議員選挙に立候補させていただきました。

「共に支えあう」「共に知恵を出し合う」活力ある村造りを全力で取り組み頑張ります。

- 一、子供たちが元気で育つ環境つくり
- 一、安心安全で魅力ある住み良い村づくり
- 一、農業と商工業が活性化する村づくり
- 一、防災対策の充実を図り、災害に強い村づくり
- 一、若者の働く場、さらに定住できる環境を整備する村づくり

皆様の絶大なご支援をお願いいたします。

安心・安全で明るく豊かな村

村民生活の満足度アップをめざし、頑張ります！

こいけ

小池まさと

皆様の力強いご支援とご推薦を賜りまして
村議会議員の再選に向けて立候補いたしました

「これまで提案したこと」

- 衛星携帯電話の導入の必要性
- 住宅用火災警報器の設置補助
- 奨学金制度の創設（教育ローンの保証料補助）
- テレビのデジタルチューナー導入補助
- 井水改修事業における利用者負担金の軽減
- 積極的有害鳥獣対策
- 戸建住宅建設促進策
- 歩道の安全確保
- 生活コストの軽減
- 消防協力企業認定
- リニア・三遠南信道を見据えた環境整備
- 遊休農地・耕作放棄地の流動化の促進
- 農業用水路の整備と水資源の活用
- 後継者・跡継ぎ対策（婚活支援・住宅対策）
- 奨学金制度の充実と回帰率の向上
- 高齢者福祉の充実
- スポーツ文化の向上
- 伝統文化の活性化
- 観光施策について
- 水道事業について
- 支援木対策 など

「これから提案したいこと」

東日本大震災・長野県北部地震でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますともに
被災された方々に心よりお見舞い申し上げ一日も早く復興されることを切に願います

小池 昌人（昭和34年生/51歳）

●長野県飯田長姫高等学校卒業

●日本大学工学部卒業 ●吉川建設㈱ ●(有)小池建設 ●下條村商工会副会長

●飯伊建設業協会の副会長 ●元下條村消防団団長 ●元阿南警察署協議会委員

いとう すすむ 伊藤 進

私の決意

この度の村議会選挙にあたり、地元皆様を始め多くの皆様の強い推選を頂き立候補させていただきました。

今日まで民生委員として三期九年の貴重な経験のもとで村民全てが安心と希望を持って住みつけける村づくりに頑張つて参ります。

私の抱負

- ・ 次の世代を背負う子供達の生きた教育の実践
- ・ 村民全てが更に心の通い合うほのぼの社会の構築
- ・ 若者が誇りと魅力をもって住みつけける村づくり
- ・ 女性が積極的に参加する事の出来る村づくり
- ・ 高齢化社会に充分対応できる効率の良い村づくり

宮島きよのぶ

○環境にいい村めざします

46才

① 桐林クリーンセンターに出している生ごみの減量をめざします

② 太陽光発電システムやLEDを普及して消費電力の削減をめざします

③ 企業・家庭から出るCO2削減をめざします

④ 井水から緊急用の飲み水確保をめざします

○ 東日本大震災により事業活動に影響のあった村内企業に対し、従業員の雇用をつづけ、健全な経営が行えるように、助成金や利子補給などの資金の適用範囲を拡大する事を第一に取り組みます

○ 農商工連携で農地の集約化、農産物加工、販路拡大し後継者を育成できる魅力ある農業をめざします

○ お年寄りのコミュニティの場を増やし元気で暮らせる村をめざします

○ 安心して子育てできる環境が、さらに充実する村をめざします

○ 十・二十年先を見据えて、議会において提案型発言をして、行政に参加しながら「住んでて良かった下條村」をめざします

むらまつ

村松 つもる

私の決意

この度、村議会議員選挙にあたり、地域をはじめ多くの皆様から力強いご推薦とご支援をいただき、立候補させていただきました。

八年にわたる議員としての経験を活かし、村民一人ひとりの声が村政に反映されるよう、下條村発展のために努力し、村民の代弁者として全力で頑張りたいと思っています。

透明度があり、不満を笑顔に変える村

元気で住みよい村

若者が夢を持てるような地域づくり

安全で安心な防災対策の充実

均等さを基本に考えた村

『誠実・実行・努力』

を信条に全力でつくす決意であります。

何卒、皆様方の絶大なるご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

しもじま

かずひで

下島 一英

〈私の決意〉

この度の村会議員の選挙にあたり、地元の方々の皆様の温かいご支援と力強いご推薦をいただいて、再度立候補いたしました。豊かな自然を大事にした住みよい活力ある村づくりを目指して頑張ります。

〈私の抱負〉

- 村政と地域の皆様とのパイプ役として
- より安心安全な地域づくり・村づくり
- 農業・商工業の活性化をめざす村づくり
- 若者がさらに定住できる村づくり
- 高齢化社会に合った安心して暮らせる村づくり

くし はら 寛 治 党
串原かんじ
 日本共産党

村民の仕事、くらし、福祉優先に

願いを村政にお届けします

この4年間頑張ってきました

・75歳以上の医療費の負担軽減実現を多くの議員と協力して進めてきました。

・議会ごとに一般質問をし、毎回の議会報告をしてきました。

◆議会の委員会活動を充実させ、村民の願いを村政に反映させます

◆地元で使える、子育て券の発行を目ざします

◆住宅の耐震・リフォーム助成制度の実現で、住いの安全と、村内中小業者への仕事の確保を

◆高齢者住宅建設の検討を

◆高齢者医療費個人負担の軽減を

◆農業の衰退と地域経済を破壊する

T・P・P【参加】に反対します

◆平和な日本をまもるため、憲法第九

条改悪に反対します

◆「福祉・災害に強い村造り」を提案します

◆東海地震の震源域にある、浜岡原発の停止を求めます



【経歴】 1949 年下條村生まれ 68 年阿南高校卒業 農業
 村会議員 1 期 (民生福祉委員・産業建設委員)

宮島 よしのぶ

私の決意

村の財政力の豊かさを、村民の皆様方が実感できる施策実現に向けて、「成せば成る」「有言実行」を信条として、

一期四年間で培った経験を活かして、

活力ある心豊かな村づくりの為に、全力で取り組みます。

私の抱負

一、災害に強く安心して暮らせる村づくりに取り組みます。

・住宅の耐震リフォームに対する補助制度の導入

・「水は生命の源」村営水道の源水確保に取り組み、

将来に渡り安定した水の供給を維持する

一、農業を基盤とした地域活性化に取り組みます。

・産直の拡大、遊休農地の有効活用、交流人口増で地域が元気に

一、高齢者の皆さんが安心して暮らせる福祉施策、

生きがい対策の充実を図ります。

一、子どもが心身共にすこやかに育つ環境づくりに取り組みます。

一、若者定住促進のため、活力と魅力あふれる村づくりを推進します。

下條村民で良かったと実感できる村づくりに向けて、

誠心誠意努力いたします。

皆さまのお力添えを心よりお願い申し上げます。

金田けんじ

皆様の暖かいご支援をいただき再度立候補いたしました。

「皆で知恵を出し合い、笑顔のある村づくり」のため今までの経験を生かし地域の皆様の意見を十分お聞きしながら次の課題に誠心誠意全力で取り組みます。

私の抱負

- 災害に強い村づくり
- 子供からお年寄りまで安心して暮らせる村づくり
- 地域とともに育む教育と文化を育める環境づくり
- 農業や商工業の振興による地域産業の充実
- 議会活動を活発にし十分な情報発信

ふくしま

福嶋としはる

豊かで活力のある

村づくりを目指します

老後も安心できる

施策を提案していきます

危機的な農業の

再生に全力を注ぎます

住みよい村の環境を

しっかり守っていきます

略歴

昭和十年 下條村生まれ
下伊那農業高等学校卒業
下條中学校PTA会長
下條村農業委員会会長
下條村村議会議員一期

この度、地域の皆様のご推薦をいただき、不肖未熟ながら二期目を目指して立候補しました。
下條村のさらなる発展と、村民が安心して暮らせる村づくりを目指して誠心誠意努力いたします。

緊急支援物資のお礼と報告

三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震では、泉崎村に多大な救援物資を提供いただき、東北、福島県、泉崎村になり替わり深く感謝申し上げます。

三月十八日の午前十時に出発し、午後四時に泉崎村に到着すると、役場の職員や住民などの出迎えを受けました。その後、中央公民館には毛布。避難所となっている保健総合福祉センターには、紙おむつや粉ミルクなどを無事に届けることが出来ました。



物資を運んでいる様子

皆さまにご提供頂いた紙おむつや粉ミルクは、翌日、午後一時から配布するというので、保健福祉センターに行つてみると八十名ほどの若い父母の皆様が行列をつくっており、状況の深刻さを改めて痛感しました。

今回の大震災では日本中、世界中の皆さんの善意の心が強く感じられ、研修で貴村に住まわせて頂いていた私も下條村民の皆さまの



ベビー用品の配布を待つ親御さん

集まった支援物資

・毛布類	340枚
・子ども用おむつ	約9,000枚
・おしりふき	66袋
・粉ミルク	100缶
・マスク	1,250枚
・トイレットペーパー	11箱
・医薬品（ひさわ薬局提供）ほか	

優しいところを直に感じ取る事が出来たことは、本当に幸甚なことだと思っています。復旧には月日が掛かりそうですが、皆様に見守られている事を胸に頑張ります。

福島県泉崎村役場職員
前【下條村研修職員】

三村 弘

福島県泉崎村の被害状況

（三月二十日 現在）

・住宅全半壊	……三十八棟
・住宅一部損壊	……二百二十棟
・道路被災箇所	……二百九十五箇所

現地検分では、住宅被害は日本家屋がほとんどで、二階の屋根瓦が落ちて一階の屋根瓦を割るため、屋根の全てをブルーシートが覆っている光景が目立ちました。



高齢者の低栄養予防は「元気で長生き」につながります 食事のポイント「たくさん」より「まんべんなく」

いろいろな食品を食べることで寝たきりの危険性が低くなります。コレステロールや脂肪分を気にするあまり野菜類ばかり食べるのは逆効果です。

肉



肉の種類もとり混せて。1日の目安は薄切り2〜3枚「50-70g」

魚介



血液をサラサラにする成分も豊富。塩分の少ない物1日1切

卵



中身の栄養分は満点。色々な料理で1日1個を目安に

大豆・大豆製品



植物性のタンパク質です。1日1品大豆製品料理を食べたい

牛乳・乳製品



カルシウムが豊富で吸収しやすい。1日200mlを目安に

緑黄色野菜 その他の野菜



旬の野菜を毎食たっぷり。1日に350gが目安です

海草・きのこ類



ミネラルが豊富。1日に1品を食卓に

いも類



ビタミンも食物繊維も豊富。1日1回は食べたい

穀類



主食も忘れないで。大切なエネルギー源。毎食適量を

果物



1日1品は季節の旬をいたしましょう

油脂



油にしか含まれない栄養素もあります。1日1回は必ず食べたい

お口の点検



入れ歯など調子はどうですか？ 噛めないことが低栄養につながります



いきいきらんど情報



脱水症状に要注意

高齢者は水をためておく機能が低下したり、のどの渇きを感じにくくなっていることから、脱水症状を起こしやすいです。決まった時間にお茶を飲む、水分の多い食事を摂るなど、意識して水分を補給しましょう。

平成二十三年度新規事業

福祉課では平成二十三年度から左記の事業を始めますので、ご利用ください。

①人工透析通院補助事業

人工透析治療のため通院されている方へ、燃料代等の補助を行います。

②不妊治療助成事業

不妊治療をされている方へ補助を行います。

③母乳育児相談事業

生後六ヶ月までのお子さんと産婦さんは助産師の母乳育児相談が受けられます。

④3種ワクチン接種事業

(平成二十二年二月より)

ヒブワクチン・小児肺炎球菌ワクチン・子宮頸がんワクチン予防接種を無料で受けることができます。

詳細やご不明な点はいきいきらんど下條までお気軽にご相談ください。



社会福祉協議会に 寄付金を いただきました

○JAみなみ信州農協女性部下條支部
金5,000円

○合原地区日赤奉仕団
金3,696円

ありがとうございました。皆様の
好意は社協の口座に入金し、今後の
事業に有効に使わせて頂きます。



**「いきいきらんど下條」での
証明書の発行について**

村では、住民の皆さんの更なる利便性を図るため、「いきいきらんど下條」において、左記証明書の発行を行う事としました。

取扱う証明書

- ・住民票証明
- ・印鑑証明書
- ・税証明（所得証明書・納税証明書等）

申請にあたっての注意事項

- ・住民票の申請の場合は、本人確認をさせていただきますので、写真付きの証明書（運転免許証等）の提示をお願いいたします。
- ・印鑑証明書の申請の際は、印鑑登録証が必要になります。
- ・手数料は一通三百円です。

右記のとおり「いきいきらんど下條」で発行できる証明書は限られたものになります。その他の証明書（戸籍謄抄本、転出証明書、外国人登録関係証明書）は、今までどおり役場窓口で発行します。

また、その他の届出（住民異動・戸籍届出、印鑑登録・外国人登録等）につきましても、今までどおり役場窓口で受付を行いますのでお間違えの無いようご注意ください。

保育所だより

47名の新入児園を迎え23年度がスタート



下條保育所では47名の新入児園を迎え23年度がスタートしました。4月1ヶ月間は年少から年長までの異年齢で生活をします。

年中年長さんの色々な姿をまねながら新入園児の子ども達は園生活の流れが分り、一日の見通しがもてる事で安心して登園できるようになってゆきます。

朝の登園時は家族との別れが悲しくて泣ける姿がありますが、砂あそび固定遊具などで遊び始めると皆いい顔になります。

大きい人と手をつないで散歩に出掛け春の自然の中でいっぱい遊んでいます。



広い園庭でみんなが砂あそび



縦割クラス 椅子に座ってうたを歌うよ〜



大きい人と小さい人が手をつないで散歩



▲ 4月5日 小・中学校の入学式が行われ小学校50名中学校59名の新入生が希望を胸に入学しました。



▲ 4月6日 保育所の入園式が行われ、47名の元気いっぱいの新入園児が仲間入りしました。

カメラでみる 村の動き ズームアップ



▲ 3月20日 消防団任免命式が村民グラウンドで開催されました。16名が退団し、新たに16名の任命を受け、今年度も総勢150名体制でスタートすることができました。



▲ 3月8日 小学校アスレチック 小学校では、昨年4月に(株)トーア電子からいただいた寄付金を有効に使いたいと児童会で話し合い、みんなで使えるアスレチック遊具を設置しました。

下 條

平成23年2月から
平成23年4月まで



▲ 2月26日 下伊那郡赤十字救急法競技大会が村民センターで行われました。100人ほどが参加し、講習会方式で日ごろ行っている救急法を勉強しました。



▲ 2月6・7日 村議会議員が福島県泉崎村を視察(ニュータウン天王台にて)



▲ 1月22日「第30回健康大会」がいきいきらんど下條で開催されました。(写真は健康増進講演会でプールを利用している方の模範演技の様子)



▲ 2月23日 中学校C組の皆さんが授業の一環として作成した花台6台を、役場・いきいきらんど・あしたむらんどへそれぞれ2台ずついただきました。

あしたむらんどだより

一日村長を経験して

下條中学校生徒会長 新井 高廣

先日、一日村長を務めました役場と各事業所の方々に親切に接していただき、僕たちはのびのびと、村長を経験できました。とても勉強になると同時に、楽しんで一日を過ごすことができました。一日村長を通して学んだことは、生徒会活動にもたくさん生きてくると思えます。今年度の生徒会スローガンは「声鳴き 意見の声友の声 歌声が響く学校」です。生徒会の日常活動や事業に対する様々な声を大事にし、その声が活発に鳴り響く学校づくりを生徒会で行っていくと考えています。昨年から続く村内美化活動以外にも福祉や環境の活動を行い、村の一員として貢献していきたいと考えています。

この点は飯田カントリークラブの行っている事が参考になりました。村と協力し作られた飯田カントリーでは、バスも無料で貸し出し、排水の処理に気を配ったりと、村に貢



左から 生徒会長 新井高廣君 副会長 木下玲央君 書記 幾嶋夏美さん 副会長 亀刺聖夏さん 会計 小木曾陽子さん

献していることが多くありました。

また、エスアイテックやトリア電子からは、ごたわりをもつことを学びました。エスアイテックでは、部品を作るためのオリジナルの機械をつくり、作業効率を上げていました。トリア電子では精密機器を扱うため、静電気やゴミなどに気を配って作業をしていました。オリジナルなるものをつくったり、細かい所まで気を配ったりすることは、生徒会で例えれば新しい自分達だけの事業を行うことであり、日常活動をしつかりやることもつながると思います。

山岸エーアイシーでは、機械を動かすための電気を送る基礎を作っていました。東海興業では車につけられるゴミ箱を作っていました。どちらもあまり消費者の僕達にとっては気に留めないものですが、機械、車を正常に動かすためのとはとても大切な欠かせないものです。細かい製品だからこそ気を抜けません。生徒会でも細かい所が雑にならないように、最後まできちんと取り組みたいです。そうすれば、全体もいいものになると思います。

最後に役場ですが、三十数名の少ない人数で村を一つにまとめるということは、とても大変なことだと思いました。村長さんは、僕達のことをしつかり考えてくれていて、防災や教育など、多くの事を話してくれました。役場の姿は生徒会をまとめる役員にとって参考になるところだったと思います。

今回学んだことが、どれだけの生徒会活動に生

きてくるかは、僕達の活動次第だと思います。どんな細かいことでも生かせるように努力していきたいです。新年度が始まり、生徒会活動も活発になってきました。清く明らかな清明の精神をもち、スローガン「声鳴き」が達成できるようにがんばっていききたいと思います。

一日村長という貴重な経験させていただき、役場の方々をはじめ、各事業所の皆様には感謝を申し上げます。

グアム研修を終えて

一年A組 原 健人



僕達一年生は、三月二十一日から三月二十四日までグアム研修に行ってきました。

グアムに到着すると、ホテルでは、ホストファミリーの方々が笑顔で向かえてくれました。

スタイル先に到着して、すぐ夕飯を食べました。内容は、フライドチキン、米などのおもてなしの料理でした。夜は、みんなで映画を見て過ごししました。その他にも、地震のことをしつかりと、ファミリーとの時間を満喫しました。僕は、日本の事を気づかってくれた、笑顔で接してくれたいホストファミリーの方々に、心から感謝しています。改めて日本へのやさしさをを感じる事が出来ました。

二日目は、ベネベンテミドルスクールの子ども達との学校交流をしました。学校の人も、日本から来た僕達のことを心から歓迎してくれました。それに、言葉の通じない僕達にもとても

親切にしてくれました。僕は、学校交流で、友情の大切さ、どんな人にも親切にすること、ということを経験しました。

その日の夜には、ファミリーと、ジョウビングに行きました。僕達は、とてもよい時間をすごしました。

三日目は、まずグアムの観光をしました。恋人岬、アプガン岩などに行つて、たづねりグアムを楽しめました。

午後には、アルバンビーチクラブに行き、お手伝いをさせてもらいました。僕はビーチで、ボールなどを借りる人たちの接客をしました。中にはthank youと言ってくれる人もいて、とてもやりがいのある仕事でした。

仕事の後には、ジェットスキー、水上バイクをやらせてもらいました。仕事の後のジェットスキーは、とても楽しかったです。

楽しかった四日間は、飛ぶように過ぎていきましたが、その中で僕は、感謝すること、親切にすることなどたくさん、の事を学びました。また、感謝された時の気持ちやなどを味わわせてくれました。僕は、このグアム研修を成長の大きな糧にして歩んでいきたいと思っています。

また、こんなすばらしい体験をさせて下さった日本旅行のみなさんと、家の人たちにも感謝したいと思います。いろんな事を学んで、これ、よい学習になりました。本当にありがとうございました。



村の図書館から



*** 平成23年度 おたのしみ会年間日程表 ***

月 日	時 間	タイトル	内 容	講師・上演者
5月15日 (日)	PM1:30~	けん玉教室	けん玉の基本/けん玉名人による 技の披露/級・段位の認定など	アップルけん玉クラブ 三石利明さん (飯田市)
6月26日 (日)	AM10:30~	蜜ろうキャンドル作り教室	ミツバチから取れる蜜ろうで自然 にやさしいロウソク作り。家庭温 暖化対策	キャンドルナイト実行 委員会 (飯田市)
8月6日 (土)	PM3:30~	夏休み人形劇お たのしみ会 (子ども読書旬間)	フェスタ大人気の 人形劇がやってくる！ 幸せな気持ちでフクわく！！	人形劇団京芸 (京都市)
8月12日 (金)	AM9:30~	夏休みふるさと 探険 (子ども読書旬間)	「下條村の民話と伝説」に出てくる 場所を訪れ、地域を知ろう！	図書館・公民館・教育 委員会 昔話研究会共催
9月18日 (日)	保育園児向け 10:00~11:00~ 小学生以上 13:00~14:30~	キラキラビーズ でアクセサリー 作り	好評につき第2段！園児向け(15組 親子・2回)/小学生以上(15人・ 2回) 限定。8月から募集。	小林美奈さん (駒ヶ根市)
11月20日 (日)	PM1:30~	スマイル・フラ ワー作り教室 (下條村読書月間)	見た人をニッコリ笑顔にさせるお 花。生花がかわいい動物に変身！？	山本洋子さん (下條村)
12月4日 (日)	AM10:30~	クリスマスうた とおはなし会 (下條読書月間)	手作り絵巻絵本やことば遊び。楽 しい歌やお話など。クリスマス スペシャル	ことばの国 あぜ道の会のみなさん (駒ヶ根市)
1月15日 (日)	AM10:00~	かるた・百人一 首大会	低中学年に分かれて対戦。幼児・ 低学年はいろいろカルタで対戦	図書館職員
2月12日 (日)	PM1:15~	図書館いきいき 講座	“哲&串”によるギター演奏と、楽 しいレクリエーション 高齢者学級 共催	串原良彦さん 伊藤 哲さん (下條村)

*あくまで、も予定ですので変更の可能性もあります

*会場は、あしたむらんど下條です

毎週土曜日は、小学生の図書館ボランティアによるおはなし会が

毎週日曜日は、図書館職員によるおはなし会がそれぞれ、AM10:30~あります。

絵本よみ、紙芝居、本の紹介、手遊びなどをします。みんなきてね！

本年度から間伐等森林整備への補助制度が大きく変わります

本年度から間伐等の森林整備に対する補助制度が変わります。

これは、国が「十年後の木材自給率五十%以上をめざす」政策を進め、林業の再生を図るために、搬出間伐に重点を置くことになったためです。

大きな変更点は以下のとおりです。

- ①集約化実施計画が必要
- ②基本的に搬出間伐が対象
- ③基本的に「集約化実施計画の作成主体が補助対象者となる」

「集約化実施計画」は三千ha以上の尾根等で囲まれた範囲について、施業地の集約化を行い、造林や、搬出間伐を中心とした森林整備および基盤となる作業路の計画を立て、間伐については、集約化した範囲内で年間に五ha以上かつha当たり十立方m以上の間伐材を搬出した場合が補助の対象となります。

今までは、間伐した面積が補助金の算出基礎となっていました。基本的に搬出間伐が補助対象となり、搬出した材の材積が補助金の算出基礎となります。

また、集約化の区域外で個人が行った整備を、個人申請す



ることや、森林組合等が代理申請することではできなくなります。

今後、間伐等を検討されている方は、ぜひ近隣の所有者に声をかけていただき、施業地の集約化を行ってください。

事業の詳細については、飯伊森林組合下條事務所（二七・一三三・九）役場振興課（二七・一三三・一）もしくは下伊那地方事務所林務課普及係（二六・五・三・〇四二五）までお問い合わせください。

自動車税・軽自動車税の納税は五月三十一日までに

平成二十三年度の自動車税・軽自動車税の納期限は五月三十一日（火）です。

自動車税・軽自動車税は、毎年四月一日現在自動車等を所有されている方に課税されます。お手元に届けられます納税通知書により、お近くの金融機関等で納付してください。

納められた時の領収書には、納税証明書がついており、車検の際に必要になりますので、大切に保管しておきましょう。



また、口座振替を利用されている方は二十五日（水）に指定の金融機関より口座振替をさせていただきます。口座振替の方で納税が確認できた方の「納税証明書」は六月の文書発送にてお送りします。

す。

なお現在、納付書により現金で納税されている皆さまへは、安全・便利な口座振替への変更もできますのでご利用ください。

お問い合わせは

- ◎自動車税 下伊那地方事務所 税務課 電話 〇二六・五・三・二二（一）
- ◎軽自動車税 下條村役場税務係 電話 二七・一三三・（一）

陽卓ジョッピングセンター協同組合「南信州地域づくり大賞」受賞

「南信州地域づくり大賞」とは、南信州において地域の活性化、地域づくりの気運の気運を高めることを目的に、平成十八年度に創設した顕彰事業です。

そして今年、陽卓ジョッピングセンター協同組合の皆様が、高齢化が進む南



部地域において、自力で買い物に出かけられない高齢者などを車で送迎する無料サービスを行っており、高齢化の進行に伴い課題となっている買物難民問題を解決するためのモデルケースとして、また、他の地域の参考となる先進的な取組が認められ、「くらし環境部門」の奨励賞を受賞しました。

表彰式の前には、下條歌舞伎の特別講演「日向島非人景清 人丸恩愛の段が行われ、会場からは溢れんばかりの拍手が送られました。また、記念講演会として、タレントで下條村出身の峰竜太さんのトークショーも行われました。



プラスマテレビ寄贈

経営についての研修会や村内の清掃活動、ボランティア活動を行っている「下條村商工青壮年経営研究会」より、今年度五十周年の記念と村の発展を祈念し、コスモボールへ四十二型プラスマテレビを寄贈していただきました。



リサイクル情報

～不燃ごみ専用袋が変わります～

どう変わるの？

いままで「缶・ビン・金物類・埋立」ゴミを、すべて不燃ごみ1種類の袋でしたが、資源ゴミである「缶・ビン・金物類専用袋」と、「埋立ごみ専用袋」の2種類に。

何時から？

役場の在庫が無くなり次第、販売されます。夏頃になりそうです。

今の袋はいつまで使えるの？

今年度いっぱい(埋立ゴミは来年3月10日の回収日まで)です。

いくらで販売するの？

資源ゴミである「缶・ビン・金物類専用袋」は今までと同じ10枚250円
「埋立ゴミ専用袋」は、10枚500円となります。

どんな袋になるの？

プラ・PETのように、10枚一連の巻型になり、下につかむところがつきます。
「缶・ビン・金物類専用袋」は **青色**
「埋立ゴミ専用袋」は **黒色**の印刷です。



～ビンの出し方について～

毎月10日収集日のビンの出し方については分別表のとおり3通りの色別で出してください。



◎ 透明(無色)・白色ビン

- ※ 中身は必ず残さないようにして下さい。
- ※ 割れたビンもビン類の色別で出して下さい。



◎ 茶色ビン

- ※ 化粧品類のビンもビン類の色別で出して下さい。
- ※ 陶器類・板ガラス等は混ぜないで下さい。



◎ その他の色ビン